

第1858回埼玉県教育委員会定例会

- 1 日 時 令和元年5月29日(水) 午前10時開会
午前10時32分休憩
午前10時50分再開
午前11時29分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 小松教育長、上條教育長職務代理者、後藤委員、遠藤委員、石川委員、
小島副教育長、佐藤教育総務部長、渡邊県立学校部長、関口市町村支
援部長、古垣教育総務部副部長、日吉県立学校部副部長、芋川県立学
校部副部長、石井市町村支援部副部長、依田市町村支援部副部長、石
川高校教育指導課長、竹井特別支援教育課長、若月特別支援教育課指
導主事、下野戸市町村支援部参事兼小中学校人事課長
岡部書記長、平野書記、中村書記、古澤書記、茅野書記、天宮書記
- 4 会議の主宰者 小松教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 小松教育長が、遠藤委員を議事録の署名者に指名した。
- (2) 協議事項
- 県立高等学校における学科の改編について
- 石川高校教育指導課長 (提案理由、県立高等学校の改編案について説明)
- 上條教育長職務代理者 現在の熊谷商業高校には商業科と情報処理科合わせて1
学年当たり200名いるわけですが、それぞれの進学率と就職率はどの程度で
しょうか。
- 石川高校教育指導課長 就職率が40パーセント程度、それ以外が大学や専門学

校への進学などとなっております。

上條教育長職務代理人 進学率が徐々に高くなっているということだと思いますが、商業科と情報処理科それぞれの特徴を生かし、生徒たちはより高度な勉強をすることで力を付け、それを就職後にうまく生かしてきたというのがこれまでの卒業生のスタイルだったのではないかと思います。今回、従来の商業科の科目や、それに加えて情報処理科の科目もバランス良く組み合わせて新しい総合ビジネス科のカリキュラムを作ろうとしているのでしょうか。総合ビジネス科のカリキュラムそのものの特徴については、どのようなものにしようとしているのでしょうか。懸念されることとしては、全てが中途半端になってしまうことです。そうした懸念についてはどのように考えているのでしょうか。

石川高校教育指導課長 今回の改編で学校は、多様な進路に対応できるように、進学にも対応できるカリキュラム、そして就職や高度な資格取得にも対応できるカリキュラムを考えております。これまでの情報処理科の科目についても、選択等で対応できるようにし、これまで別々に実施してきたものを総合的に学べるような形でカリキュラムを組むことになると思います。さらに、課題研究等の特色ある科目につきましては、地域と連携しながら、これまでも実施していた商品開発等の取組にも力を入れながら特色ある活動を進めてまいります。

上條教育長職務代理人 先生方の適切な指導によって、生徒たちそれぞれが多様な進路を組み立てられるように選択科目を選べ、それを組み合わせることで、進学や就職を考えることができるということでしょうか。また、就職にしてもこの分野にチャレンジしてみたい等、生徒の多様なニーズに応えることが可能となる比較的柔軟なカリキュラム編成を作っていこうと考えているということでしょうか。

石川高校教育指導課長 イメージとしては、1年生の段階では商業に関する基礎的な共通のカリキュラムで学び、2年生から三本の大きな柱で取り組んでいくようなイメージになります。

遠藤委員 私も上條委員と全く同じ意見で、この二つの学科を合わせて全く新しいカリキュラムを作るのか、その際、商業系の香りと情報処理系の香りをどの

ように組み合わせたいのかという疑問があります。また、全く新しいものを作る場合、教員の数の問題があると思います。総合ビジネス科を作ってそれに合わせて数を確保するのか、それともカリキュラムに合わせて教員を充てていくのか、その点について説明してください。

石川高校教育指導課長 先にカリキュラムを作り、それに合わせた教員の確保ということになりますが、元々商業科ということもありますので、商業の教員についてはそれほど大きく変わりはないと思います。

上條教育長職務代理者 私も遠藤委員も懸念しているところは同じで、名前は変わったけれど、カリキュラムそのものはそれほど特徴的ではない中途半端な状況に陥って、逆に生徒たちが進学なのか就職なのか悩んでしまうことです。今まで商業科で力を付けて就職してきた生徒たちが、これまでのような環境が得られなくなるようなことがないように注意してほしいと思います。そうした環境を整えることが可能となるよう、先生方が適切に指導して選択科目が選べるように組み立ててほしいです。その点については、是非、十分に配慮して進めてほしいと思います。

後藤委員 私もお二人からお話があったように、名前は変わったけれど何も変わっていないということがないようにしてほしいと思っています。総合ビジネス科という学科のある学校は、埼玉県内には現在何校くらいあるのでしょうか。

石川高校教育指導課長 現在は、新座総合技術高校1校です。

後藤委員 越谷総合技術高校も選択制で商業科を選べたと思います。今、科目の違いがはっきりと出せなくなっているのが悩みであると聞きました。2年次から三本の柱に分かれていくということですが、新しく入学した1年生と前からいた2年生とで、カリキュラムの内容も当然違いがなければならないと思います。科目だけでなく、使用する教科書も当然違ってくことと思います。また、先生方の意識も変わっていかなければ、新しい学科を作った意味もなくなってしまいます。三本目の柱を見てみると、何でもありのようにも見えてしまいますので、やはり特色を持たせる必要はあるのではないかと思います。特色という部分で言うと、熊谷商業高校の隣にある商業高校は深谷商業高

校ですが、資格取得においては抜群の実績を持っています。深谷商業高校に通っている生徒の半数は熊谷から通っているという現実もあります。そういう意味では、何を目的に商業高校に行きたいのかを明確にさせる必要があります。資格取得であれば深谷商業高校、熊谷商業高校に入学する生徒はこういう力を身に付け、こういう進路に進みたいという明確な目標を持たせられるような学科を作ってほしいと思います。

石川委員 資料に「高度資格取得を継続して実現できるように」とありますが、現時点で、例えば今年の商業科、情報処理科の卒業生はそれぞれどのような資格を何人くらいの生徒が取得しているのでしょうか。

石川高校教育指導課長 高度資格については、ITパスポートや簿記の資格がありますが、現在の取得者は数名程度となっております。先ほどお話がございましたように、深谷商業高校と比べると資格取得の部分では、これから更に力を入れていける部分かと思います。2校の棲み分けといたしましては、深谷商業高校は高度な資格取得、熊谷商業高校は3年間を見通したキャリアプランニングという形で考えております。

石川委員 商業科の生徒も簿記などの資格取得者は少ないのでしょうか。

石川高校教育指導課長 高度な資格取得となるとITパスポートや簿記2級がございしますが、人数としては現在は数名程度です。

小松教育長 商業科については、地方産業教育審議会からも今後の充実について指摘があったところです。AIが登場してきていることの影響については、工業だけでなく商業にも及んでくると思いますので、そうした点においても先を見通した教育課程を作っていければと感じています。

後藤委員 総合ビジネス科の具体的なカリキュラムや学校の在り方についても、今後変化があると思いますが、今後このことについては教育委員会の定例会で取り上げられることなく、学校独自で進めていくことになるのでしょうか。

石川高校教育指導課長 この後、学校において教育課程の編成が本格的に行われていくこととなります。教育課程につきましては、学校長が責任を持って決定するものではありませんが、編成の過程の中で指導をしていきたいと考えており

ます。

- o 協議の結果、事務局案を了承

(3) 報告事項

ア 令和2年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学力検査問題の基本方針並びに学力検査の実施教科及び出題範囲について

石川高校教育指導課長 (提出理由、学力検査問題の出題の基本方針、学力検査の実施教科及び出題範囲等について説明)

上條教育長職務代理者 大枠については了解しました。学校選択問題についてですが、実施している学校はいわゆる進学校が多い状況です。進学校は学校選択問題を使用することが当然であるというプライドのようなものは持たせないようにしてほしいと思います。学校選択問題の平均点は大体低かったと思います。50点以下の平均点もあり、それで本当に峻別できるのだろうかと感じる面もあります。問題については事前に確認しているのか分かりませんが、それが適切かどうかについては、入学者選抜が終わった後でもよいのできちんと評価し、次年度の出題に関して、より良い適切な作問ができるよう指導してほしいと思います。進学校が学校選択問題を出題することをプライドに感じるような風潮はやめてほしいということと、平均点が適切な水準となるように、作問については次年度への対応としてきちんと指導してほしいと思います。

石川高校教育指導課長 学校選択問題についてですが、受検生一人一人の能力を適切に把握したいということ、又、受検生の得点に差が付かないということで、その能力をしっかりと把握することが難しいと判断した学校が、選択できるようにしたものです。今回の学校選択問題の平均点ですが、数学が53.5点、英語が64.3点ということで、少し改善はしてきているものと考えております。多くの学校で、受検生一人一人の学力をしっかりと把握して選抜することができてきたのではないかと考えております。学校選択問題の実施につきましては、希望する学校がきちんと一人一人の能力を把握することができているのか、入試の結果等も踏まえてしっかりと検討し、実施の判断をしているかどうか

かについても、学校と調整しながら確認し、支援をしていきたいと考えております。

遠藤委員 今の学校選択問題についての話と重複する部分もあるかもしれませんが。先ほど数学が53.5点ということで、少し改善されてきたとの話がありました。改善されてきたのかもしれませんが、まだ難しいのかもしれませんが。その年その年で反省することは簡単です。各校の過去何年かの状況を見てみて、この高校は数学の平均点が大体55点くらいで、60点を超えていないということになると、その学校では数学は難しい問題を出しているのだということは単純な話として分かります。そうすると中学校や塾などでは、あそこの高校は数学ができれば入学できるという話になり、受検生に対して数学に力を入れるよう指導する中学校等が増えてくることになります。そういうことにならないようにすることが大切で、入試においてはそうした点についての反省や見直しが必要になるのだと思います。その年だけでなく、できるだけ毎年過去問を見て振り返りをするべきだと思います。どうしてもこの学校は平均点が上がらないということであれば、問題作成者がそういった傾向になりがちになっているのだと思います。その場合、問題作成者が変わるとガラッと変わってしまうこともあり得ます。今後指導していくという話ですので、そうした点も加えて考慮しながら指導して行ってほしいと思います。

イ 令和3年度埼玉県公立高等学校入学者選抜日程について

石川高校教育指導課長 (提出理由、令和3年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の日程について説明)

(4) 次回委員会の開催予定について

6月10日(月)午前10時

<非公開会議結果>

第2号議案 埼玉県障害児就学支援委員会委員の委嘱及び任命について

埼玉県障害児就学支援委員会規則の規定に基づき、20人の委員を委嘱及び任命することを決定しました。

第3号議案 教職員の懲戒処分について

非違行為を行った所沢市立向陽中学校の男性教諭（26歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。

第4号議案 教職員の懲戒処分について

交通事故を起こした鶴ヶ島市立富士見中学校の男性教諭（25歳）に対して、3月間停職する懲戒処分を決定しました。

第5号議案 教職員の懲戒処分について

不適正な事務処理を行った吉川市立北谷小学校の男性事務主事（24歳）に対して、戒告する懲戒処分を決定しました。